

道徳教育の抜本的改善・充実

資料1

平成28年度予算額(案) : 14.6億円

平成27年度予算額: 14.6億円

背景

- 平成25年 2月 教育再生実行会議「いじめ問題等への対応について(第一次提言)」
- いじめ問題の根本的な解決に向けた道徳教育の抜本的な充実を提言
- 12月 「道徳教育の充実に関する懇談会」報告
- 「特別の教科 道徳」(仮称)の設置等について提言
- 平成26年 2月 中央教育審議会に「道徳に係る教育課程の改善等について」諮問
10月 中央教育審議会から「道徳に係る教育課程の改善等について」答申
- 「特別の教科 道徳」(仮称)に係る学習指導要領の具体的な在り方等について提言
- 平成27年 3月 学習指導要領の一部改訂等
(平成27年度から内容の一部又は全部を先行実施することが可能。
全面実施は小学校は平成30年度、中学校は平成31年度。)

① 「私たちの道徳」の配布

5.8億円

教材の充実

「私たちの道徳」を全国の小・中学生に配布する。

- ・ 小1・小3・小5・中1 計550万冊

② 映像資料の作成及び先進事例のアーカイブの整備(新規)

1.8億円

求められる道徳教育の実現に向けた教員の指導力向上

「特別の教科 道徳」の趣旨やねらいを踏まえた効果的な指導方法について映像資料を作成する。また、それらを含め、現在、各学校等で取り組まれている好事例や優れた教材を収集・集約・発信する機能を有した「アーカイブセンター」を構築する。

③ 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援

7億円

地域に根ざした創意工夫ある道徳教育の支援

改訂学習指導要領を踏まえた効果的な指導方法等に係る指導主事・教員等の研究協議会を開催するとともに、各地域の特色を生かした道徳教育を推進するため、外部講師の活用や、郷土の歴史や偉人などを取り上げた地域教材の作成、「親子道徳の日」といった家庭・地域との連携を強化する取組などを支援する。

- ・ 研究協議会の開催 67地域
- ・ 学校・家庭・地域の連携による特色ある道徳教育の取組の支援 67地域

「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」における取組例

福島県

- 「郷土愛」をテーマに，児童生徒が道徳的価値について自ら考えるため，児童生徒にとって身近な素材をもとにした福島ならではの教材「ふくしま道徳教育資料集 第Ⅲ集『郷土愛：ふくしまの未来へ』」を作成。
(前年度までに，第Ⅰ集「生きぬく・いのち」，第Ⅱ集「敬愛・つながる思い」を作成。)
- 作成に当たっては，震災経験で得た新しい知見や獲得した価値観を伝えられるものとするとともに，多様な価値観が引き出され児童生徒が深く考えることのできるものであり，特定の価値観に偏しない中立的なものとなるよう留意。

長崎県

- 道徳の内容を学習する際，ゲストティーチャーを招き，講話等を通じて，人としての生き方を見つめる機会とした。

<外部講師の内容>

- ・ メディア安全指導員
(メディアの利便性と危険性，情報モラルについて)
- ・ 元全日本女子ソフトボール部監督
(人と関わることを通して高める道徳性について)
- ・ 車いすバスケットボール選手
(仲間とともに自分らしく生きることについて)

熊本市

- 核となって研究を進める「道徳教育推進モデル校」を指定。そのうち，一新小学校では，毎月1回，第2金曜日を「親子道徳の日」と設定し，「私たちの道徳」を家庭に持ち帰り，親子で指定された箇所を読み，子供が書いた感想を親が読んでメッセージを書くという取組を実施。
- これらの取組により，自分自身の成長を振り返り，成長を実感するとともに，親や教師にとっても子供の理解につながる事となることを目指す。